

社会資本総合整備計画 事後評価書

令和07年12月01日

計画の名称	安平町復興まちづくり計画												
計画の期間	令和03年度 ~ 令和06年度 (4年間)								重点配分対象の該当	○			
交付対象	安平町												
計画の目標	<p>平成30年9月6日の午前3時7分に発生した胆振地方中東部を震源とする平成30年北海道胆振東部地震において町内最大震度6強を観測し、令和元年9月5日現在、人的被害として重軽傷者17名、建物被害は全壊93棟、半壊364棟、一部損壊2,478棟の被害等が確認されている。</p> <p>今回ブラックアウトが発生したが、主要避難場所の電源確保に苦慮したことのほか、耐震化されていない建物を避難場所に使っていたことなど、災害時の避難場所や災害支援活動の拠点整備が進んでおらず、防災機能の充実が課題となっている。</p> <p>このため、防災機能の充実により災害に強いまちづくりを目指すものである。</p>												
全体事業費(百万円)	合計(A+B+C+D)	1,181	A	1,181	B	0	C	0	D	0	効果促進事業費の割合 C / (A+B+C+D)	0	%

番号	計画の成果目標(定量的指標)			
	定量的指標の定義及び算定式	定量的指標の現況値及び目標値		
		当初現況値 (R3当初)	中間目標値	最終目標値 (R6末)
1	主要避難場所の耐震化率を75%から100%へ増加させる。 主要避難場所の耐震化率 耐震化率 = 対応済の避難場所 ÷ 4 避難場所当初現況値3 ÷ 4 = 75% 最終目標値4 ÷ 4 = 100%	75%	%	100%

備考等	個別施設計画を含む	-	国土強靱化を含む	○	定住自立圏を含む	-	連携中枢都市圏を含む	-	流域水循環計画を含む	-	地域再生計画を含む	-
安平町強靱化計画に基づき実施される要素事業 : A13-001												

A 基幹事業

基幹事業(大)	番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接間接	事業者	種別1	種別2	要素となる事業名 (事業箇所)	事業内容 (延長・面積等)	市区町村名/ 港湾・地区名	事業実施期間(年度)					全体事業費 (百万円)	費用 便益比	個別施設計画 策定状況	
												R03	R04	R05	R06	R07				
一体的に実施することにより期待される効果																				
備考																				
市街地整備事業	A13-001	都市防災	一般	安平町	直接	安平町	-	-	被災地における復興まちづくり総合支援事業(安平町早来地区)	防災支援施設の整備	安平町						1,181	-		
												小計						1,181		
											合計						1,181			

事後評価

事後評価の実施体制、実施時期	
事後評価の実施体制 安平町教育委員会社会教育グループ	事後評価の実施時期 令和7年度
	公表の方法 安平町HPで公表
事業効果の発現状況	
定量的指標に関連する 交付対象事業の効果の発現状況	<ul style="list-style-type: none"><li>施設の改修により、主要避難場所の耐震化率を75%から100%へ増加することができた。</li></ul>
定量的指標以外の交付対象事業の 効果の発現状況（必要に応じて記述）	<ul style="list-style-type: none"><li>施設の改修により、災害時に地域住民の安心・安全に繋げる場所を確保することができた。</li><li>施設を活用した防災展示を行い、地域住民の災害に対する意識の向上を図ることができた。</li></ul>
特記事項（今後の方針等）	
<ul style="list-style-type: none"><li>災害時の避難所、防災備蓄品の保管庫、ボランティアや自衛隊などの災害支援活動の拠点として施設を使用する。</li></ul>	

目標値の達成状況		
番号	指標（略称）	
	目標値 / 実績値	目標値と実績値に差が出た要因
1	最終目標値	100%
	最終実績値	100%